

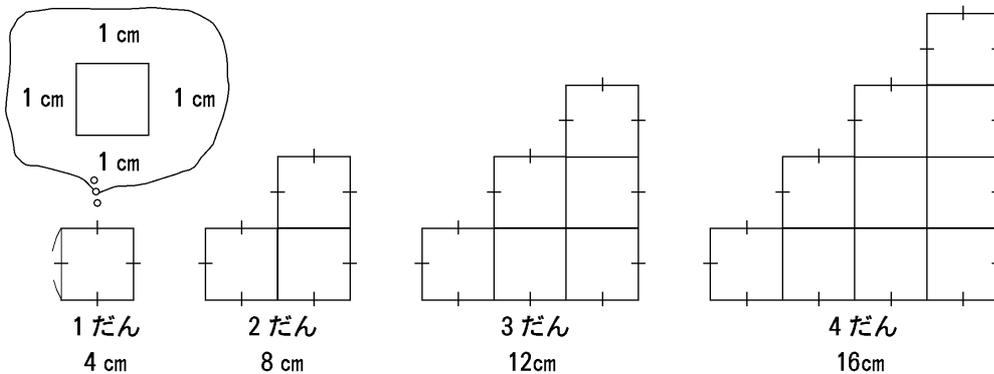


小 / 算数 / 4年 / 数量関係 /  
変わり方調べ / 理解シート

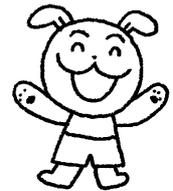
正方形をならべるとき、だんの数とまわりの長さの<sup>かんけい</sup>関係を教えて



1辺が1cmの正方形を下のよう<sup>かんけい</sup>にならべたとき、だんの数とまわりの長さとの<sup>かんけい</sup>関係をみつけるよ。



まわりの長さだから、の辺の数を数えればいいんだよ。



① 上のことを表にかきます。

だんの数 (だん)	1	2	3	4	} いつも4倍になっている。
まわりの長さ(cm)	4	8	12	16	

**ポイント** ▶ まわりの長さは、いつもだんの数の4倍になっています。

② だんの数を□だん、まわりの長さを○cmとして、□と○の関係を式に表します。

$$(\text{だんの数}) \times 4 = (\text{まわりの長さ})$$

**大切!** □ × 4 = ○

□が15のとき、○は、 $\square \times 4 = \bigcirc$   
 $15 \times 4 = 60$  60です。

○を□でわると商はいつも一定(4)だね。



③ 表を横にみると、次の決まりがあります。

おぼえておこう

だんの数が1だんずつふえると、まわりの長さは4cmずつふえます。